



入学式



PTA総会

本当に大切なこと

PTA会長 兼 松 博 之



PTA会員の皆様、本年4月の総会で皆様のご承認をいただき、PTA会長を務めさせていただいております、兼松と申します。

私事ですが、平成23年度にも会長を務めさせていただき、この度再就任することになりました。甚だ微力ではございますが、会員の

皆様のご協力をいただき、新役員の皆様と共に任期を全うしたいと思っております。よろしく願いいたします。

昨年は、学校創立90周年という節目の年で、記念式典などとても多忙な一年でした。前会長様をはじめ、旧役員の皆様、会員の皆様には大変ご尽力いただいたことを、この場を借りてお礼申し上げます。

今年は、来るべき100周年に向けての最初の一年でございます。そこで、同窓会の皆様のご協力、会員の皆様のご賛同をいただき、昨年度の北舎エアコン設置に続き、今年度は南舎にもエアコンを設置し、夏休み中の学習はもとより、残暑厳しい9月の授業においても、生徒が集中して学習に臨める環境を整えることができました。

ご協力、ご賛同いただきました皆様方に、心から感謝申し上げますと共に、生徒諸君の学習面での奮闘を期待しております。

先日、あるセミナーに参加した際、「大切なことは、どれだけたくさんのことをしたかではなく、どれだけ心をこめてしたかです。」という、マザー・テレサの言葉に出会いました。この言葉は私の心に深く染み入り、その後何度も何度

もその言葉の意味を考え、確かめ、自分の行動を省みたり、あるいは勇気づけられたりしています。

成果のみを求めがちな現代社会において、「心」の問題を深く切り込んで考えることは、とても大切なことだと思います。成果に追われる中で自分を見失い、わずか十数年生きてだけで、その後何十年と続く自分の大切な人生を見切ってしまうような、子どもたちの「心」の持ちようを変化させていくためには、私たち大人が「本当に大切なこと」に改めて気づき、社会の基本的な基盤である家庭で、心の大切さを伝え、子どもたちの可能性を応援する責任が親にはあるのだらうと思います。

子どもとしても大人としても中途半端で、多感な年頃であり、進路を決めなければならないなど、様々な悩みを抱える大変な時期ではありますが、子育てのラストスパートとして、気負いすぎず、しかし諦めることなく、子どもたちを見守り育てていきましょう。

さて、PTAとしての活動はそれほど多くのことができないのが現状ですが、今年度も月一回のあいさつ運動をはじめ、文化祭やなまazu祭りへの協力などを考えております。お互いに無理なく、楽しく参加していただけるような活動にしていきたいと思っておりますので、お時間の許す限りご協力いただきますようお願いいたします。

また、生徒会活動や部活動に一生懸命取り組んでおられる生徒がたくさんいます。生徒たちの頑張りに対して、できる限りの応援をしていきたいと思っておりますので、合わせてご協力のほど、よろしくお願いいたします。



保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

先般のPTA総会において、新しい役員が決定されました。新会長として就任されました兼松博之様をはじめ会員の皆様には、本校の発展のためにお力添

えをいただきますようお願い申し上げます。また、先日の岐阜県PTA連合会総会において、本校役員として3年間務めていただきました前会長の後藤由歌様に表彰状が授与されました。旧役員の方々には長年のご支援をいただきましてありがとうございました。

本校は、昨年度学校創立90周年を迎えることができましたが、歩みを止めることなく次の創立100周年へ向けて、時代の要求に応えた教育をしていかなければなりません。生徒と教職員、保護者が協働し、ますます「地域から信頼され、愛される羽島高校」を築いていきたいと願っています。

さて、学校において主役はもちろん生徒です。生徒たちは「立志 好学 節度 勇健 創造」の校訓の下、将来の夢の実現と幸せのために、高校3年間を学習や部活動等に積極的に取り組んでいます。我々教職員は、生徒に対して多くの支援をしながら、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成に努めています。しかしながら、成長段階にある高校生には、様々な障害や誘惑があります。それを克服し乗り越えていくには、正しく導き指導する教職員と保護者が必要

不可欠です。学校教育は教職員で、家庭教育は保護者でと一応の分担はありますが、お互いに子どもを健全に育てるという共通の目標をもつわけですから、教職員と保護者が二人三脚で取り組むことが大切だと思います。両者が協力することで、お子様の成長と羽島高校の発展があるのだと強く思います。ぜひ、そんな意味も含めまして、PTA活動へのご理解・ご協力と積極的なご参加をお願いいたします。

年間様々な機会を設けて、保護者の方に来校していただくご案内をしています。お子様を通じて文書にてお知らせしたり、学校ホームページに掲示したりしています。仕事等お忙しいことは十分に承知していますが、「二人三脚で」の趣旨をご理解いただき、ぜひ学校へお越しください。

学校では、次の2点を「育てるべき生徒像」として掲げ、教育に取り組んでいます。

- 社会の一員として生きていくために必要な知識、モラル、マナーを備えた生徒
 - 将来について前向きに考え、目標をもって努力できる生徒
- 具体的には、次頁以降にある各分掌からの報告をご覧ください。また、今年度新たに、自分たちの学校に対する帰属意識と誇りを強くもってもらうために、毎朝、校旗掲揚と校歌を全校放送で流しています。さらに、頭髪・服装を整えることと制服のネクタイ・リボン着用の徹底を呼びかけています。

生徒の夢の実現へ向けて、自分自身を磨き鍛える場所であり、近い将来には母校となる羽島高校において、教職員と保護者がますます協力して、心身ともに健全な若人の育成をしていきたいと思います。

平成25年度PTA定例総会 <新役員決定>

平成25年4月26日(金)、「平成25年度PTA定例総会並びに部活動後援会総会」を本校体育館にて開催しました。昨年に引き続き、今年度も生徒の躍動する姿を見ていただきたいという目的で、弓道部の演武、吹奏楽部の演奏パフォーマンス、Sクラブの活動発表を行い、その後に総会を行いました。

平日ではありましたが、保護者の方々の多くの参加をいただき、議案等は原案通り全て承認されました。また、PTA会長が後藤由歌会長から兼松博之新会長へと引き継がれ、新役員承認及び紹介が行われました。その後、新会長から旧会長並びに旧役員の方々に感謝の意を込めて感謝状と花束の贈呈がありました。

総会終了後は、新転任職員の紹介、校務分掌長・学年主任等の紹介、進路指導部長・生徒指導部長による本校の現状と指導方針についての説明があり、学年懇談会や学級懇談会が開かれました。今年度も、羽島高校PTAの活動に対し、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

＝新役員＝

会 長	兼松 博之	
副 会 長	今 幸治	服部 明
書 記	川柳まさ裕	日比 伸也
会 計	野田 宏美	橋詰 広
会 計 監 査	大洞百合子	近藤なお子
1 年 学 年 委 員 長	金森由利香	副委員長 藤江 早苗
2 年 学 年 委 員 長	坂 純子	副委員長 虫賀 匡子
3 年 学 年 委 員 長	岩田 義子	副委員長 毛利 恵美



有意義で充実した高校生活を送るために

・生徒指導部

本校では、基本的な生活習慣の確立を柱として、社会の一員としての自覚と、自らの行動に責任を持ち、自己の能力を生かすことのできる生徒になるために、「自己指導能力」の育成を念頭においてさまざまな教育活動を行っています。本年度は特に、「遅刻防止」「正しい服装・頭髪」を生徒指導部の重点目標として指導をしています。そのためには、生徒自身が本校の規則をしっかりと認識し、高校生としての自覚を持つ必要があります。

夏休みを前に、ご家庭でもお子さまの日頃の生活や学習状況を今一度ご確認ください、有意義で充実した高校生活を送るため、今後ご理解とご協力をお願いいたします。

生徒の皆さんは、いろいろな悩みを持ち、壁を乗り越えながら日々成長しています。教育相談室では主にそういった生徒の「心のサポート」を行っています。生徒自身が自分の抱える課題と向き合い、それを解決していけるように支援をしていきたいと思っています。今年度も臨床心理士の先生に来校していただき、カウンセリングを行っていただいていますので、保護者の皆様も気軽に利用してください。



あいさつランドはしま
(毎月15日羽島市役所前駅にて)

特別活動で充実した学校生活を

・特活指導部

学校生活で最も大切なのは、当然「学習」です。同時に高校生という最も人間として成長する時期に大事な活動が、特別活動です。LHR活動・生徒会活動・学校行事、そして部活動を通しての活動が学校生活に充実感をもたらします。教室の中では学習することができない貴重な体験をする機会であり、その活動の経験は心や体を磨き、新しい自分へと成長させてくれます。

本年度はこれまでに生徒会行事として、新入生歓迎会(4月)、球技大会(5月)が開かれました。行事では、新入生が羽島高校に慣れると同時に、各クラスの絆を強めることができ、有意義な時間になりました。

校内の行事としては最大の文化祭が9月6日(金)に開催されます。毎年、各クラスで企画を考え、生徒自らの手で様々なものを作り上げていきます。また、文化系部活動の発表の場として、吹奏楽の演奏や美術・書道の展示などの企画もあります。現在は生徒会執行部や文化委員を中心に、各クラスでの取り組みが始まっている段階です。

10月23日(水)にはスポーツフェスティバルが予定されています。この大会では球技大会と違い、バレーボール・バスケットボール・卓球・大縄跳びなどのいろいろな種目を開催しますので、球技大会とはまた違った楽しみがあります。

11月15日(金)には芸術鑑賞会があります。本年度はパントマイム「カンジャママイム」を羽島市文化センターにて鑑賞します。

その他、生徒会執行部・Sクラブ・MSリーダーズを中心とした、「あいさつランドはしま」への参加(毎月15日)や地域のボランティア活動や羽島市における行事(なまず祭り等)への参加を行っています。

また、本年度より1年生の部活動を全員加入とし、昨年度より活発に活動する部活動が増えてきていると感じております。

いろいろな活動を通して、新しい自分を発見することができるのも特別活動です。充実した学校生活を送る源が特別活動にはあります。今後とも、本校の特別活動についてご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

健康的な生活を送るために

・保健厚生部

高校生に限らず、私たち人間にとって健康的な生活を送るためには「食事(栄養)」「睡眠(休養)」「運動」の三本の柱をしっかりと確立することが大切です。最近暑い日が続くようになり熱中症の症状を訴え保健室に来室する生徒が多くなりました。その生徒のほとんどが朝食の欠食と寝不足を訴えており、生活習慣の乱れが体調不良をひきおこしていることがわかります。健康な身体作りのためには規則正しい生活を送ることが必要不可欠です。各家庭でのご協力をお願いいたします。

4月以降、生徒のみなさんの健康管理のために各種健康診断(内科・眼科・歯科等)が行われました。今年度は欠席をする生徒が大変少なく、多くの生徒が健診を受け自分自身の健康に興味・関心を持つことができたのではないかと思います。大変嬉しく思っています。

健診後、病院での治療が必要な生徒には治療のお願いのプリント(ピンク色の紙)を配付いたしました。特に歯科治療が必要な生徒が多くなりましたので、1学期中または夏季休業中を利用して治療を受け、治療報告書を提出していただくようお願いいたします。

授業に部活動、学校行事と、学校生活を楽しく健康に送るためには、健康な心と体が必要です。ご家庭での健康面への見守りとご支援をよろしくお願いいたします。

幅広い人間形成の一助として

・図書視聴覚部

夏本番を控えた6月、羽島高校の朝は穏やかに始まります。

本校では年2回『朝読書』を実施しています。授業前の10分間を利用して読書に親しむ時間です。6月初旬から行われた朝読書では、他事をする一部の生徒もおりましたが、多くの生徒たちが本を通して様々な思いを感じていたようです。本の内容について友達同士、先生方と話す姿も多く見られ、ほのぼのとした雰囲気醸し出していました。

昨年度までは各1週間だった朝読書を、今年度から各3週間と、長期にわたって実施する予定です。目的は「書物に親しみ幅広い知識や教養を身につけ、心豊かに生きていく力を育む」ことです。この期間をきっかけに、一人でも多くの生徒が書物に触れ、読書の楽しさを感じてくれたらと切に思うばかりです。

さて、羽島高校図書館では保護者の皆さまにも本の貸し出しを行っております。お子さまを通じてどうぞご利用ください。おひとり5冊まで、貸出期間は2週間です。本校図書館には、専門書から新刊本まで2万冊を超える蔵書があります。お子さまと本について語り合う、また、共通な話題を持つなど、いつもと違ったコミュニケーションができることも、楽しんでいただけるのではないのでしょうか。「こんな本を探しているんだけど…」というお尋ねやご要望にも、できる限りお応えしたいと思っております。ぜひご利用ください。

「書物は青年時代における道案内であり、大人になってからは娯楽である。」という格言があります。様々なことに思い悩み、不安を感じた時、子どもたちが自分の力で道を切り開いていくための術が、もしかしたら書物の中に隠れているのかも知れません。子どもたちが、心豊かに素敵な大人になるためのお手伝いを、保護者の方々と共にできたら幸いです。

図書委員による『おはなし会』開催のお知らせ

日時: 7月24日(水)、25日(木) 午前11時~11時20分
場所: 羽島市児童センター
内容: 地域の子どもたちに向けた絵本の読み聞かせ
お時間がございましたら、生徒たちの活躍をぜひご覧ください。

昨年度の進路状況を見ますと、四大進学者が18%、短大15%、専門学校30%、そして就職が26%となっています。本校は普通科高校ですが、大学・短大、専門学校、就職とほぼ3分の1ずつになっています。今年度の3年生の進路希望状況を見てみると、近年増加傾向にあった就職希望者はやや減少し、変わって専門学校希望者が増加しています。

進路実現に必要なことは、一言でいうと「競争を勝ち抜いていくための実力をつける」ということとなります。進学も就職も、試験ではまず「学力」をみられます。進学校と呼ばれる高校の生徒は、授業だけでなく、家庭でも塾や予備校でも学力を磨いていますし、模擬試験によって競い合っています。専門高校の生徒は、授業の中や検定受検で専門的な学力を磨いています。

次に大学や企業から評価されるのは、その人の「人間力」です。高校生活の中の「部活動」「生徒会活動」「ボランティア活動」といったものから、その人の「意欲」が判断されます。「挨拶」「言葉遣い」「マナー」などからは、その人の「コミュニケーション能力」が判断されます。面接や小論文、書類審査は、そのために行われます。

羽島高校では今、生徒の進路実現のため、次のような活動をしています。

1 進学補習・土曜学習

補習は、進学希望者を対象に、放課後に行っています。外部模試や入試に対応した内容となっています。土曜学習は、土曜日の午前中、定期考査や外部模試対策を目的とした自学自習を基本として、視聴覚室を開放しています。担当の職員を毎回3名配置し、生徒の質問に答えています。今後、講義を予定している教科もあります。



土曜学習

2 ふれあい看護体験・2年生インターンシップ

ふれあい看護体験は5月と8月に行われます。全学年の生徒が対象で、看護医療系の進学・就職を考えている生徒に、積極的に参加するように呼びかけています。インターンシップは、2年生の希望者が対象で、7月

24日から26日までの3日間で行われます。教室では得られない貴重な就業体験や事前、事後の研修を通して、働くことの意義や目的を考える契機にします。

3 キャリア教育アドバイザーの配置

「平成25年度キャリア教育アドバイザー配置事業」により、5月1日より三輪薫さんが進路指導室に常駐しています。進路指導部・担任と協力して、保護者の皆様やお子様の就職に関する支援をしていただきます。現在はずでに3回目の個人面談を行っていただき、希望職種の絞り込みを行っているところです。



キャリア教育アドバイザーによる個人面談

4 3年生進路別研修会

4月24日に、3年生は進路別研修会を行いました。岐阜県内の大学・短大を中心に、岐阜県・愛知県の専門学校からも講師の方に来ていただき、分科会形式で説明を受けました。1年生も、12月に同様の進路別研修会を計画しています。

最後になりましたが、保護者の方にお願ひがあります。進路決定において本人の意向を尊重することはとても大切ですが、ぜひ保護者の方にも積極的に関わっていただきたいということです。生徒たちは、人生の重要な岐路に立っていて、多かれ少なかれ不安定になっています。そんな時の保護者の方からのアドバイスは、とても重要な意味を持ってきます。

また分からないことがありましたら、就職・進学とも保護者説明会を開いておりますので、その折にでもお気軽にご質問ください。お子様の進路実現に向け、学年団とも協力し、最大限の努力をして参りますのでよろしくお願ひします。



3年生進路別研修会

責任ある行動を

1年学年会

入学式を迎え、晴れて羽島高校生となり、間もなく1学期が終わりようとしています。緊張感あふれた入学式を迎えた1年生が、この4ヶ月の間に新しい学習環境や部活動、そして人間関係などに戸惑いながらも、ようやく羽島高校の生活にも慣れてきたように感じます。最近のご家庭でのお子さまの様子はいかがでしょうか。

先日、2年次からのコース選択に関する予備調査を実施しました。2年生からは文系コースと理系コースに大きく分かれることになります。普通科高校の進路には様々な可能性があります。この選択により、卒業後のお子さまの進路がある程度絞られてくることになります。ご家庭でも卒業後の進路を踏まえ、じっくり話し合っただき、保護者懇談会等で担任と決定していただきたいと思ひます。

しかし、現在の1年生の様子を見ていて心配なことがいくつかあります。まず1つめに、高校卒業後の進路について「よくわからない」とアンケートで答えている生徒が多いことです。希望する進路へのこだわりを持っている生徒も多くはなく、しっかりとした目標がなく、毎日をなんとなく過ごしている様子がうかがえます。3年間は、あっという間に過ぎていきます。「そのうちに」などと考えず、1日も早く進路研究を始め、いくつかの選択肢を挙げながら絞っていかなくてはなりません。ぜひご家庭でも、進路の話題で話し合う機会をつくっていただきたいと思ひます。

2つめに、行動の幼さが目につくことです。まだ中学生の気分が残っているようですが、徐々にでも高校教育の仕組みを理解して、責任ある行動がとれるように指導していかねばならないと考えています。大人への階段を登るために、ぜひご家庭とも協働しながら、お子様を導いていきたいと考えています。

今回、羽島高校に入学して最初の成績表をお渡しします。夏休みの補充を考え、欠点さえ取らなければいいという生徒もいますが、進路のことを考えるならば、少しでも良い成績を取る欲を出して欲しいものです。

入学してもうすぐ1学期が終わりようとしています。高校生活はあっという間です。3年先を考えた指導をするためには、より先を考えることができる保護者の皆様方のご協力が欠かせません。学校と家庭が連携し、一緒にお子さまの将来を考えていきましょう。

自己の進路を考える

2年学年会

早いもので、2年生となり3ヶ月が過ぎました。最初の緊張も徐々にほぐれ、新しい学年にも段々慣れてきています。2年生という学年は、「中だるみの学年」といわれます。しかし一方では、3年生が進学・就職に向けて体勢を整えていくに従い、部活動や学校生活など、羽島高校の中心として、活躍を期待される学年でもあります。

1年生の目標は、「高校生活に慣れる」ことでした。その

ために、時に羽目を外してしまった生徒には、生徒指導で正しい方向へ軌道修正をすることも多々ありました。しかし、これからは進路目標をしっかりと定め、各自が自発的にその目標に向かって進んでいくことが大切です。はっきりとした目標を持った生徒ほど、今、自分がやるべきことを自覚することができるからです。

そこで2年生の目標を、「自己の進路を考える」としました。昨年は、一年を通じて文系か理系かという大きな選択をしました。これでお子さまの進路は、1/2に絞られました。今年はさらに目標を絞り、より具体的な進路目標を目指させたいと考えています。

今年度になって気になることに、「遅刻」の多さがあります。あまりにも気軽に「遅刻」をする生徒が増えており、自分の将来を軽く考える生徒が多いことに不安を感じます。3年生になり、いざ自分の入試や就職試験を前にした時に、遅刻や欠席の記録だけは修正がききません。後になって、あのとき遅刻がなかったら…欠席が少なかったら…と悔やむ生徒が毎年何人も現れます。現在の生活が、自分の将来を傷つけることがないように、今を大切に生きて欲しいものです。学校でも引き続き遅刻の撲滅を訴えますが、ご家庭でもお子さまの遅刻がなくなるよう、ご協力をお願いします。そして生徒全員が、来年度、自分の目指す進路目標を達成できるよう、ご家庭でも卒業後についての話し合いの機会をもっていただけますと幸いです。

進路実現に向けて

3年学年会

3年生になって3ヶ月が過ぎ、最高学年としての自覚が見られるようになりました。遅刻の数も大幅に減少し、授業にも真面目に取り組んでいます。また学校行事や部活動においても下級生をリードし、高校生活を充実させようと努力している姿が見られます。

さて3年生の大きな目標は「進路実現」です。本校の生徒の進路先は、四年制大学、短大、専門学校、就職と多岐にわたり、どの進路の希望者も数十名いるというのが特徴です。このように様々な進路目標を掲げる生徒に対して、共通して求めたいのは「自主性」です。それは進路選択に対する自主性でもありますし、進路目標実現のための自主性でもあります。自ら進路を選び、自ら対策を練らない限り、自己の進路を実現できません。「自主的に行動」できることが進路実現の鍵です。

このように生徒に自ら進んで進路に向けて活動するように促すためにも、是非、お子さんの人生、家族の在り方、生きる意味などについて、お子さんと話し合う機会を持っていただきたいと思ひます。3年学年会も、生徒一人一人の「自己実現」を支援したいと考えています。

今後とも、保護者の皆様方のご理解とご協力をよろしく願ひいたします。

東海地区高等学校PTA連合会 静岡大会に参加して

3年学年委員長 岩田 義子

6月21日(金)、台風4号の影響で雨の降る中、静岡市民文化会館で行われました東海地区高等学校PTA連合会静岡大会に、参加させていただきました。

会場は1、2階とも満席に近い状態で、教職員・PTAの皆様意識の高さに感銘しました。記念講演は、静岡県舞台芸術センター芸術総監督の宮城聰様の「演劇と青春」でした。日本に二つしかない県立の劇団の一つという特性を活かして、地元根づく活動をされています。「演劇を演ずる側に立つ事」によって、中高生を含む若い世代の県民の方々が、自己の気持ちの表現や他人との交わり方を身に付けられる場として活用されています。

発表は、静岡県立浜松西高等学校と岐阜県立大垣工業高等学校でした。

静岡県立浜松西高等学校は、県内初の中高一貫校です。その特色を活かして中高を通してのPTA活動も積極的に行われています。親側のニーズに沿った「今一番知りたい事・知らせたい事」を中心にPTA活動が開催されPTA総会にも高い参加率を得られています。また、地域で活躍されている方々や保護者によって生徒向けの講演が行われており、会社経営者・1級建築士・バイオリニスト・鳥人間コンテスト参加経験者など多岐の職種の方々が講師を務められています。子どもが成人するまで携わる息の長いP

TA活動に驚きました。

岐阜県立大垣工業高等学校は、親子の絆に拘った活動をされていました。取り組みの一つとして、学校がパイプ役となり親から子どもへメッセージを送り、子どもから親へ返信をするというものがありました。このメッセージのやり取りは、保護者にとっても子どもにとっても自分や家族を見つめ直す良いきっかけになっています。子どもたちが書いた返事はとても実直で、親子の絆をより深め、子どもたちの健全な育成の手助けとなる素晴らしい成果をあげられました。

今回の研修会に参加させていただき、他校のPTAの皆様と有意義な時間を過ごさせていただきました事に感謝いたします。また、今後の活動に反映させるよう務めたいと思っております。ありがとうございました。



校内球技大会

5月22日(水)に球技大会が行われました。

球技大会は種目がバレーボールのみで、本校グラウンドに15面のバレーボールコートを作り行われます。

前日の準備から当日の審判や運営、球技大会後の後片付けなどもすべて生徒の手により行われました。

朝から夕方まで、五月晴れの中で一生懸命にボールを追いかける姿は大変素晴らしかったです。

全試合の最後には、3年生男子の優勝チームと教員チームの試合を行い、全校生徒が見守る中、今年は3年生男子チームの勝利で終わりました。

試合結果は以下の通りです

	優勝	準優勝
1年生男子	1-5A	1-5B
1年生女子	1-6A	1-5C
2年生男子	2-2A	2-3B
2年生女子	2-4C	2-1B
3年生男子	3-2A	3-5B
3年生女子	3-3C	3-2B

